

五十音

北原白秋

あめんぼ赤いな。ア、イ、ウ、エ、オ。
浮藻に小蝦もおよいでる。

柿の木、栗の木。カ、キ、ク、ケ、コ。
啄木鳥こつこつ、枯れけやき。

大角豆に醋をかけ、サ、シ、ス、セ、ソ。
その魚浅瀬で刺しました。

立ちましよ、喇叭で、タ、チ、ツ、テ、ト。
トテトタッタと飛び立った。

蛞蝓のろのろ、ナ、ニ、ヌ、ネ、ノ。
納戸にぬめって、なにねばる。

鳩ぽっぽ、ほろほろ。ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ。
日向のお部屋にや笛を吹く。

蝸牛、螺旋巻、マ、ミ、ム、メ、モ。
梅の実落ちても見もしまい。

焼栗、ゆで栗。ヤ、イ、ユ、エ、ヨ。
山田に灯のつく宵の家。

雷鳥は寒かる、ラ、リ、ル、レ、ロ。
蓮花が咲いたら、瑠璃の鳥。

わい、わい、わっしよい。ワ、イ、ウ、エ、ヲ。
植木屋、井戸換え、お祭だ。

《底本》

白秋童謡集 第五集『祭の笛』北原白秋 著並訳
第二部 学問のうた「五十音」

大正11年〈1922年〉6月13日 アルス刊

(国立国会図書館蔵)

<https://www.benricho.org>

*底本での旧字体は新字体とし、歴史的仮名遣いは現代仮名遣いとしました。 みんなの知識 ちょっと便利帳